

# 輝き

三木市立三木特別支援学校 学校通信 No.7 令和5年12月1日

## しっくりした雰囲気が漂います

子どもたちが登校し、朝の準備をしているときに教室の様子を見て回ります。荷物を整理している子や着替えをしている子、やっていることは様々ですが、どの教室にもゆったりと暖かい空気が漂っています。それはまず、ご家庭でしっかりと朝の準備をされて、気持ちの上でゆとりをもって登校できていることが大きな理由です。その上で、子どもと担任や他の教員との関係がいかたちで築けていることも大きいと思います。

1学期には、子どもと教員がやり取りをしているところに、私も割って入ることができていました。それはやり取りの間にちょっとした隙間があったから、入り込んでも大丈夫だと思えたからです。でも今はそんな隙間を感じる事がなくなっています。それだけ、子どもたちと教員との関係がしっくりとっているのだと思います。

今年度もあと4か月です。今の関係を大切にしながら、今の関係だからこそのことを見つけて取り組んでいきます。

## トライやるウィーク

11月13日(月)からの1週間は、三木市のトライやるウィーク週間でした。本校の中学部2年生7人も元気よく参加しました。

1人について1つか2つの事業所(計7か所)に行きました。また、本年度の特徴として、中学校は登録しているけれど、本校は登録していない事業所に行くケースがありま

した。

初日から積極的に仕事に取り組む子もいれば、少しずつ慣れていき後半から本来の力を発揮する子もいます。すべての子に共通するのは、事業所の方の話をよく聞いていることと、「仕事をするって、こんな事なんだ。」と感じ取っていることです。これは、学校では伝えられないことで、実際に現場で見て聞いてやってみて感じ取れることです。そういった体験ができた有意義な一週間でした。ご協力いただきました事業所の皆様、ボランティアの方々、それに毎日送迎やお弁当づくりをしていただいた保護者の皆様に感謝いたします。

## 50周年記念事業実行委員会を 開催します

令和6年度に本校は50周年を迎えます。50周年の記念事業をどのように行うかを検討し実行するための委員会を発足しました。保護者から参加希望をとり、9人に参加いただくことになりました。ご参加いただく保護者の皆様、本当にありがとうございます。

また、参加希望を出さなかったけれど、やっぱりやってみようかと思われる場合は、いつでも参加できますのでご連絡をお待ちしています。第1回目の実行委員会は12月21日(木)15:30からです。

子どもたちも保護者も、関係者すべてが楽しむことができるよう、みんなで考えていきましょう。

校長 橋本 泰一